

呼吸器 まだ迷っています

松平正子(文と絵)



夜寝るときは頑張っつけています

いかなごの佃煮作りの季節になりまして、主人のときも何かと良くしていただき、いまの私にも良くして下さってる方から、おいしい佃煮をいただき、うれしかったです。前は私も作っていました。新鮮ないかなごを早く買いに行ったり、作っている途中は、電話がかかってきても、誰かが来ても、出られないくらい大変な思いでやっていました。いまは作れなくなってしまいまして、大変でも作れることの良さを実感しています。

月一回の受診のとき、先生が、喉のつまり、胸のあたりの苦しさがすっきりするか、入院して呼吸器をつけて試してみませんかと言って下さり、入院して試すことにしました。試すときに、呼吸器に逆らわないようにと水町さんからのアドバイスをいただいていたので、そのようにしましたら、つけても大丈夫の感じになりました。いつもいいアドバイスに感謝しています。

十日間入院して退院するとき、先生に夜寝るときにつけていきましょうといわれまして、いま、自宅で寝るときつけての日々ですが、喉のつまり、体のあちこちの痛みがあり、体調がすっきりしていません。子どもたちにも、いま以上に世話かけるので、呼吸器つける、つけないはまだ迷っています。でも夜寝るときは頑張っつけています。

先日デイサービスに行くとき、近くの妙法寺川公園の桜の花の咲いているところに連れて行ってもらい、春の良さをを見せていただき、うれしかったです。元気なときは、桜の咲くころは必ず見に行っていたところだったので、本当に、いい思いになりました。

これからも出来ることをして、一日一日大切に過ごしていくのが一番いいなあと思っています。



松平さんへの メッセージ



神戸の春の方 からだが楽だといいなあと思っています

松平さん、お体、きびしくなっているのですね。呼吸がづらいとき、体のすみずみにそれが広がっていくのですね。経験なくて、松平さんが苦しいときに言葉にできなくておりますが。呼吸器がうまく活躍して助かりますね。

松平さんはわが家では「イカナゴの方」でみなさんに通じます。神戸の春の方です。好きなお花があちらこちらに咲きはじめる春が元気だと、みんな元気にイキイキとみえます。松平さんが苦しいと思うと私もしんどくなってしまうのも不思議です。松平さんと長くおつき合いさせていただいているからかもしれませんね。夜は呼吸器を着けてお休みされているとお聞きして、体が楽だといいなあ！と願っています。

松平さんは「出来ることをして」と言っておられて、私も同じように思いながら日ばかり過ぎていきます。

杉本孝子

介護させてくれたらすばらしい 子どもなんてそんなものです

私は35歳で母を亡くし、36歳で父を亡くしました。発病が原因です。親にはいつまでも生きて欲しいと思います。

そして、一つくらいは親孝行したかったです。私が特別かもしれませんが、私がうまれてあげた以外は、親が喜ぶようなことは何一つしていません。

前置きが長くなりましたが、親は生きてるだけで良いのです。介護をさせてくれたら、こんな素晴らしいことはありません。